開倫塾ニュース2016.6月号巻頭言	2016年4月11日

漢検で読解力の基本の「漢字力」を
―６月４日の漢字検定で、学年で学ぶ漢字をすべて身に着けよう―

開倫塾
塾長 林　明夫

Q：学力の基本は何ですか。

A：(林明夫。以下省略)

(1)全教科の学力向上、成績アップの基本は読解力、つまり、教科書や試験問題に書いてあることを読んで正確に「理解」できる力です。

(2)教科書や試験問題に書いてある内容を読んで正確に理解できなければ､学力は身に着きません。試験問題も最後まで読み終わりません。

(3)学力向上、成績アップの基本は読解力です。

Q：読解力アップの基本は何ですか。

A：「漢字」の意味をよく「理解」すること、漢字が読めて書けることです。学年相応の漢字を身に着けることです。

Q：学年相応の漢字を身に着けるには、どうしたらよいですか。

A：よく準備をして、一日も早く学年相応の級の「漢検」合格を果たすことです。

Q：「よく準備をして」とはどういうことですか。

A：(1)漢検に出題される漢字は、級ごとに決まっています。そこで、時間さえあれば、また、工夫さえすればいくらでも準備できます。

(2)自分の学年相応の級の過去に出題された漢検の問題を中心に、一語でも多く漢字を身に着けることが大切です。

Q：「一日も早く」とはどういうことですか。

A：(1)開倫塾では、全塾生が 6 月 4 日の第一回の漢検で自分の学年相応の級に挑戦し、全員合格を果たすこととしています。

(2)小学１年生から高校３年生までの全塾生の皆様は、6 月 4 日に行われる漢検で自分の学年相応の級の漢検に受験申し込みを行い、合格を果たしてください。

Q：なぜ開倫塾では全塾生に 6 月 4 日の第一回漢検で学年相応の級の合格を目指すことを奨励するのですか。

A：(1)日本の小・中・高校生にとっての学力向上、成績アップの基本は読解力であり、その大本(お

おもと)が「漢字力」だからです。

(2)そこで、学年相応の漢字を一日も早く身に着けた上で、その学年の全教科の学習を行って頂きたいと考えるからです。

Q：現在の学年に相応する級に合格する自信のない場合は、どうしたらよいですか。

A：(1)無理は禁物です。自分の実力にふさわしい級からコツコツと毎学期 1 回ずつ漢検を受け続け、学年相応の級に追いつくことをお勧めします。

(2)漢字が不得意な方は 2 ～ 3 級前の級から毎学期受験し、3 学期の 2 月に行われる漢検で学年相応の級の合格を果たすことをお勧めします。

Q：既に学年相応の級を取得している場合は、どうしたらよいですか。

A：(1)勉強に遠慮は一切不要です。かんばって 6 月 4 日に次の級の漢検に挑戦することをお勧めします。東大合格者を数多く出している中高一貫校では、中学 3 年生全員に高校卒業程度といわれる漢検 2 級に挑戦させ、高校での全教科の教育に役立てているそうです。中学 3 年生で高校で学ぶすべての漢字を身に着けておけば、難しい内容の高校の各教科の教科書や参考書を読んでも「理解」することができ、難しいことばがたくさん出てくる高校の授業もよくわかりますので、高校での勉強がとてもよくわかります。

(2)漢字が得意な人には、その学年が始まるまでに学校で学ぶすべての漢字を漢検を活用して身に着けることをお勧めします。

Q：受験生はどうしたらよいですか。

A：受験生こそ 6 月 4 日の漢検に挑戦してくださいね。

(1)私立中学校や公立中高一貫校を受験する 6 年生は、全員が 6 月に漢検 6 級または 5 級に合格を。

(2)来春に高校入試を控えた中 3 生は、全員が 6 月に漢検 3 級に合格を。

(3)来春に大学入試を控えた高 3 生は、全員が 6 月に漢検 2 級に合格を。

Q：最後に一言どうぞ。

A：(1)漢検は受験勉強そのものです。本気で 6 月 4 日の漢検合格を果たしてください。

(2)勝負はゴールデンウィークです。漢検には「音読練習」と「書き取り練習」が最も有効です。

(3)「一生使う漢字は、今、覚え、身に着けるしかない」。そう考えてゴールデンウィーク中は「練習、練習、また、練習」で、6 月 4 日の漢検合格を果たしてください。「練習は不可能を可能にします」。

2016 年 4 月 9 日(土)記

(宇都宮大学大学院工学研究科客員教授)